

# 事業所防災リーダー通信2024 Vol.22

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。  
実際の事業所でどのような防災に取り組んでいるのかをご紹介します。皆さんも参考にしてみましょう。

## 【事例紹介】株式会社アメイジング



### 災害時の帰宅抑制への準備

阪神・淡路大震災後、東京消防庁災害時支援ボランティアに登録し、情報収集を行っています。首都直下地震を想定し、発災から72時間の帰宅抑制をするために以下の備えをしています。

#### 【倉庫での全体備蓄】

- ・生活水300L+飲料水100L、非常食(フリーズドライ、パンの缶詰)30食、無洗米15kg
- ・カセットコンロ+カセットボンベ100本
- ・非常用トイレ(黒ポリ袋+凝固剤)400回分、非常用便座+トイレ用簡易テント
- ・簡易ベッド(コット)3セット、エマージェンシーアルミシート
- ・使い捨てウェットタオル50本
- ・ポータブル電源500Whクラス3台
- ・2階事務所のドアが開かない事態のための避難用伸縮ハシゴ

#### 【1人分の防災セットの配布】



- ・フリースブランケット、アルミブランケット、ウェットタオル×5、ウェットティッシュ
- ・ペットボトル水500ml×2、フリーズドライおにぎり×4、えいようかん(5本入り)
- ・簡易トイレ×10、スマホ充電器+電池、フラッシュライト+電池

### 事業所概要

#### 株式会社アメイジング

- 従業員数：4人 ● 業務内容：印章小売店向けコンピュータシステムの開発・販売など



## 【事例紹介】株式会社セブン&アイ・ホールディングス



### 非常食の知見向上、ローリングストック推進

非常食試食訓練を行い、個人や家庭の備えについて考えました。

#### ローリングストックとは？

備蓄している食材などを日常的に使いながら買い足していく方法

引用：)事業所防災リーダー通信Vol.5

非常食調理	アルファ化米と調理用飲料水、災害時において断熱や防臭に有用なラップのみを配布	→ 目の前にあるものを活用し、生き残る力を得る
個人備蓄	個人の事情を振り返り、「会社備蓄以外に必要なもの」を考える	→ 「他人には理解されにくい、個人的に大切なもの」をリストアップ 例：)アレルギー、常備薬など
家庭備蓄	被災時の献立を考える訓練 停電時に今ある食材で何ができるか体験	→ 停電に陥る「前」に何が必要なのか気づけた



▲非常食調理の様子



▲グループ各社合同のシャッフルチームにて実施。意見を取り入れやすい環境を構築

#### 従業員の声

被災時の環境を体験し、意見を出し合うことで、備蓄を見直すきっかけや、モバイルバッテリーを備えるなど、**防災に対する意識が向上**しました。

- ・訓練時期：2024年9月
- ・参加人数：149人

### 事業所概要

#### 株式会社セブン&アイ・ホールディングス

- 連結従業員数：157,177人
- 業務内容：セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂などを傘下に持つ総合流通持株会社

## 東京消防庁からのお知らせ

東京消防庁では、毎月、季節やそのときどきで問題になる防災にまつわる事柄をテーマに情報発信をしています。今月は救急車の適正利用「その通報、本当に119番ですか？」をピックアップしています。是非ご覧ください！

[東京消防庁HP](#) →

